

MIA国際理解教育支援事業 オンラインプログラム説明会

2021年5月20日(木) 宮城県国際化協会

説明会プログラム内容

1. オンラインプログラムの概要について
2. 申込から開催までの流れについて
3. プログラム実施例の紹介
4. プログラム実施にあたってのお願い

1. オンラインプログラム概要について

- MIAでは、地域における国際理解教育の推進を目的として、宮城県在住の外国人講師を学校や団体などへ派遣し、県内の子どもたちに国際交流の機会を提供する「国際理解教育支援事業」を行ってきました。
- 現在、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、外国人講師の学校等への派遣を見合わせていますが、派遣型のプログラムに代わるオンライン型のプログラムを2020年秋よりスタートしました。

1. オンラインプログラム概要について

- オンライン会議ツールZOOMを使用し、MIAに登録している外国人講師と子どもたちが画面を通して交流します。
 - 講師は写真や動画を取り入れたり、クイズ形式にしたりなど、様々な工夫を取り入れながら母国の紹介などの話をします。
 - 学校のパソコンの画面を、教室のプロジェクターや、TVとつないで大きな画面で多数の子どもたちと交流をしていただけます。
- ※ZOOMの使用にあたっては、MIAがホストとしてミーティング設定を行いますので、学校がZOOMアカウントを所有していなくても、問題ございません。

1. オンラインプログラム概要について

❖ オンラインプログラムの種類について

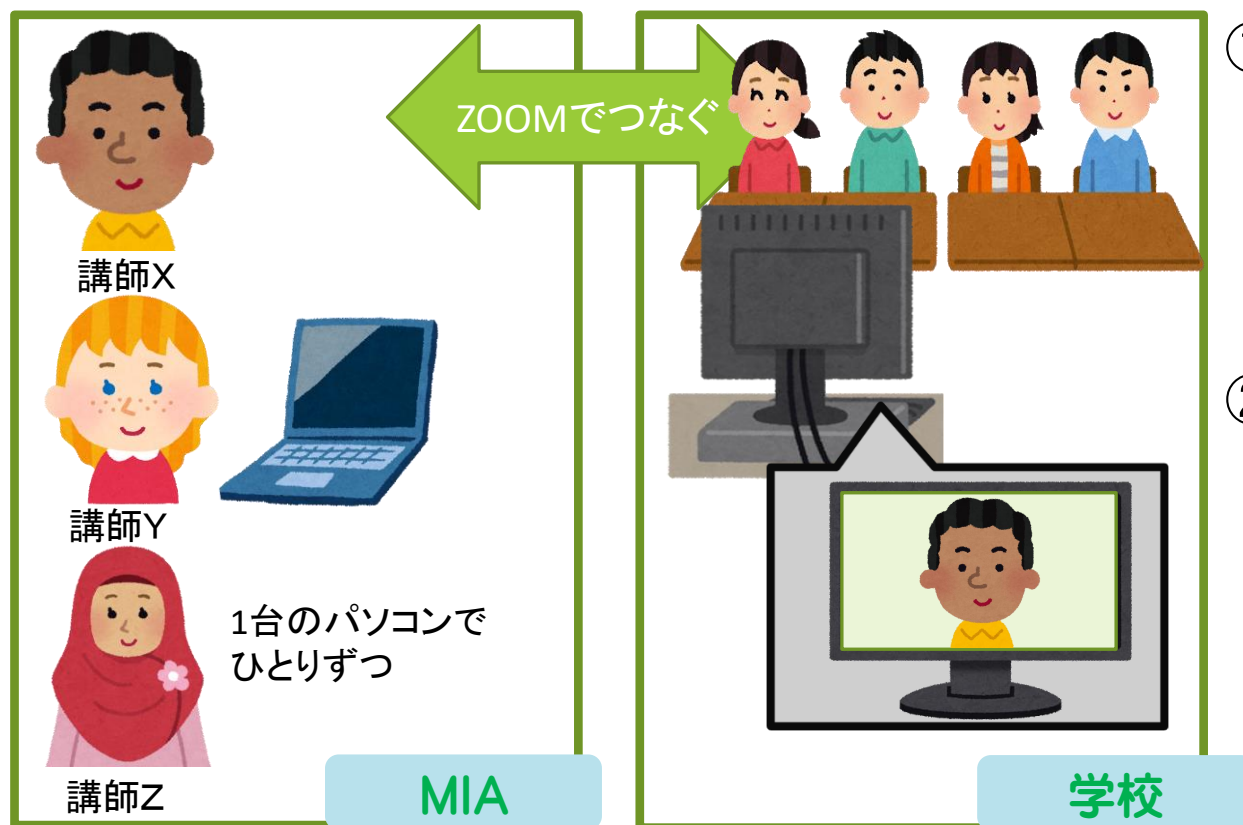
A案とB案の2つの種類があります。

参加人数や会場の環境等にあわせて、どちらか選んでいただきます。

※どちらの場合でも、1回のプログラム時間は60分～120分です。

1. オンラインプログラム概要について

A案でできること



- ① パソコンやタブレットのZOOM画面を会場（教室、体育館、多目的室など）のテレビやプロジェクターに接続し、大きな画面に映して多くの児童生徒が集まって参加します。

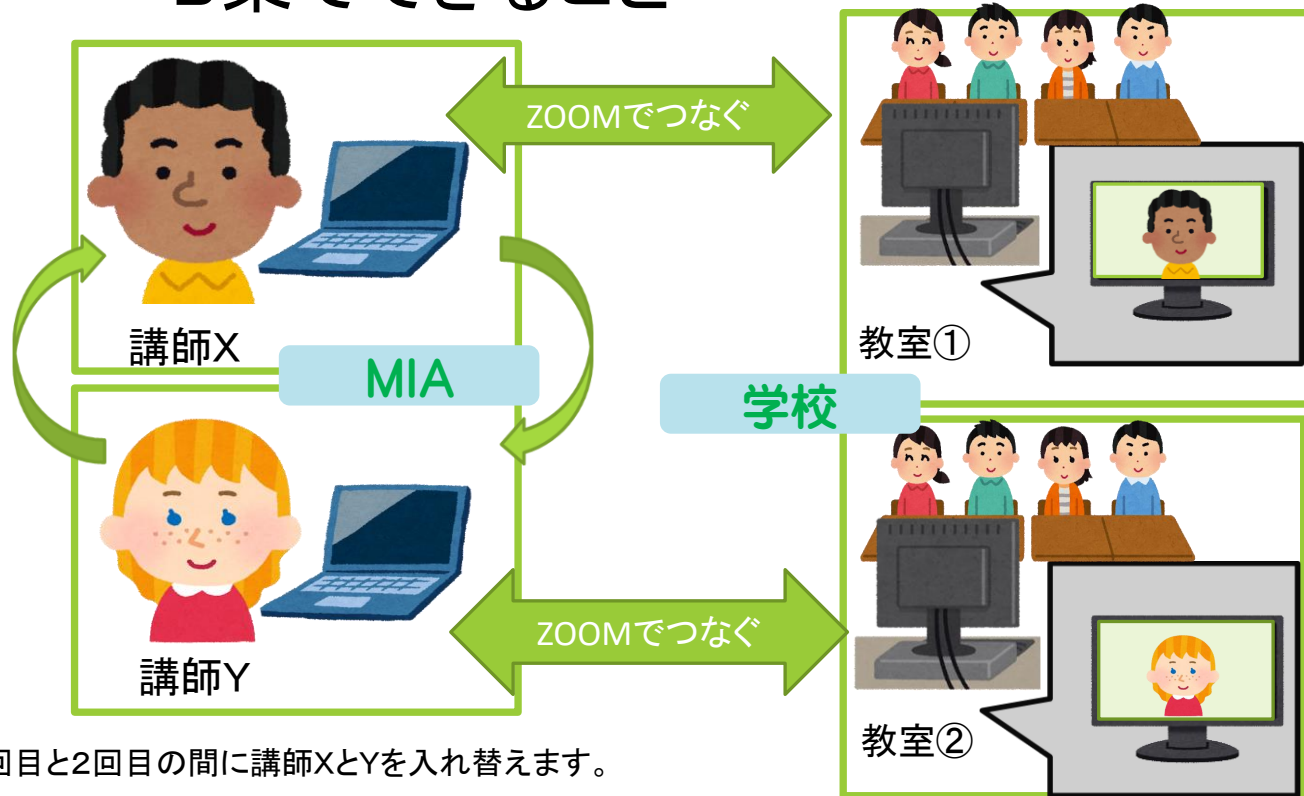
OR

- ② 複数の会場のテレビやプロジェクターに同じ映像を映し、学年やクラスごとなどに分かれて、別々の会場から同じプログラムに参加します。

※A案の場合、講師は1～3人となります。

1. オンラインプログラム概要について

B案でできること



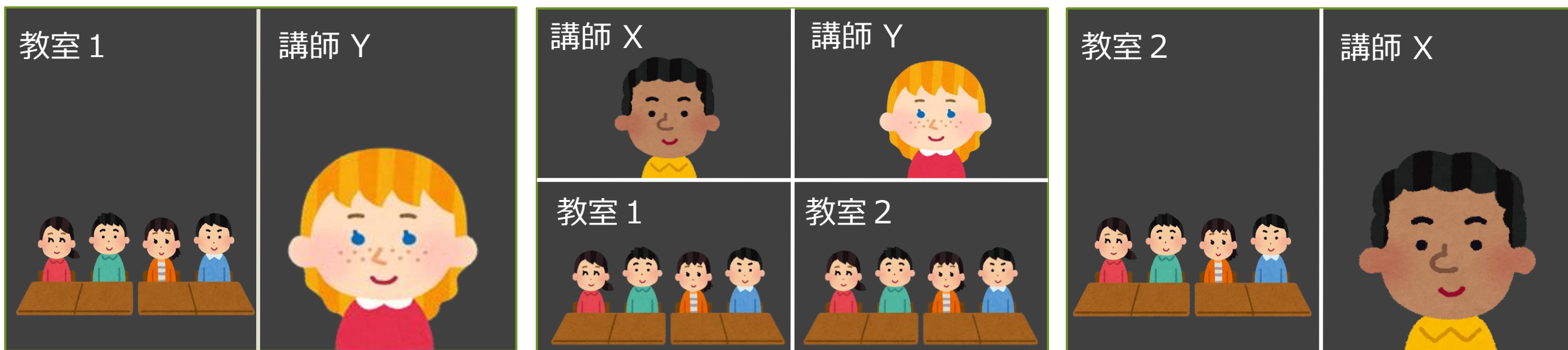
1回目と2回目の間に講師XとYを入れ替えます。

- 参加する児童生徒を2つの会場にグループ分けし、1会場に1人の講師を割り当てそれぞれの会場で講師と交流します。(2つの会場において、同時並行で別の内容のプログラムを進行させることができます。途中で講師を入れ替えることも可能です。)

※B案の場合、講師は必ず2人となります。
※B案はZOOMのブレイクアウト機能を使います。

1. オンラインプログラム概要について

ブレイクアウト機能:ミーティングの参加者を小部屋に割り当てて小グループを作ることができる。



2. 申し込みから開催までの流れ

①開催希望日の2カ月前までに申込書をMIAまでお送りください。

(申込書はMIAのHPからダウンロードできます。)

<https://mia-miyagi.jp/kokurikyo.html>

②外国人講師のプロフィールと「プログラム予定表」の様式、及び開催通知文を、申し込み団体あてに実施日の約1か月前にお送りします。

③お送りした「プログラム予定表」の様式に、進行イメージをご記入のうえご返送ください。

2. 申し込みから開催までの流れ

④ZOOM接続テストを行います。

当日のプログラムがスムーズに運ぶよう、
できるだけ本番同様の環境でのテストをお願いします。

⑤プログラム実施

※プログラム実施後、MIAから請求書とアンケート用紙をお送りします。

請求書に基づき、指定の口座にお振込みください。

アンケート用紙は、回答をご記入のうえMIAあてにご返送ください。

2. 申し込みから開催までの流れ

2021年度負担金について

講師1人につき3000円のご負担をお願いします。

例) A案・講師3人紹介の場合は、 $3000 \times 3 = 9000$ 円となります。

3. プログラム実施例の紹介

A案のプログラム実施例（90分のプログラム・講師3人の場合）

※進行は学校側でご担当ください

プログラム進行例

- | | | |
|---|----------------|-----|
| 1 | 全体あいさつと紹介 | 10分 |
| 2 | 講師Xのプレゼンテーション | 20分 |
| 3 | 講師Yのプレゼンテーション | 20分 |
| 4 | 講師Zのプレゼンテーション | 20分 |
| 5 | 児童生徒からの質問・感想など | 10分 |
| 6 | まとめ | 10分 |

3. プログラム実施例の紹介

H中学校の事例

A案で実施。講師数3人。
参加生徒は1学年105人。
多目的ホールのプロジェクターを使用し、
ZOOM画面をスクリーンに投影。

講師は生徒への問いかけや、クイズ等を
交えながら母国の文化を紹介した。

タイムスケジュール

14:00	プログラム開始 1人目講師のプレゼン
14:30	2人目講師のプレゼン
15:00	休憩
15:10	3人目講師のプレゼン
15:40	全体を通してのまとめ・質疑応答
15:45	プログラム終了

3. プログラム実施例の紹介

B案のプログラム実施例（90分のプログラム・講師2人の場合）

B案プログラム例

- | | | |
|---|--------------------------------------|-----|
| 1 | 全体あいさつと講師紹介 | 10分 |
| 2 | それぞれの会場に1人ずつ講師を振り分け
1回目のプレゼンテーション | 25分 |
| 3 | 質疑応答 | 10分 |
| 4 | 講師を入れ替えて2回目の
プレゼンテーション | 25分 |
| 5 | 質疑応答 | 10分 |
| 6 | 全体でまとめ | 10分 |

※2と4はブレイクアウト機能を使用します。

3. プログラム実施例の紹介

K高校の事例

B案で実施。講師数2人。
参加生徒は2学年40人。
生徒は予め2つのグループに分かれて
グループごとに別の教室から参加。

最初に全員が一緒にあいさつ等を行った後、
ZOOMのブレイクアウト機能を使用して
1グループ+講師1人の形に分かれて交流。

講師による母国の紹介のあと、
生徒が1人1つずつ順番に講師に質問。
1人目の講師との交流終了後、講師を入れ替えて
別の講師と同様の交流を行った。

タイムスケジュール

14:00	プログラム開始 全体でのあいさつの後ブレイクアウト機能で 講師と生徒を小部屋に振り分け
14:05	1人目の講師と交流開始 (母国の紹介+生徒から質問)
14:35	2人目の講師と交流開始 (母国の紹介+生徒から質問)
15:05	プログラム終了

4. プログラム実施にあたってのお願い

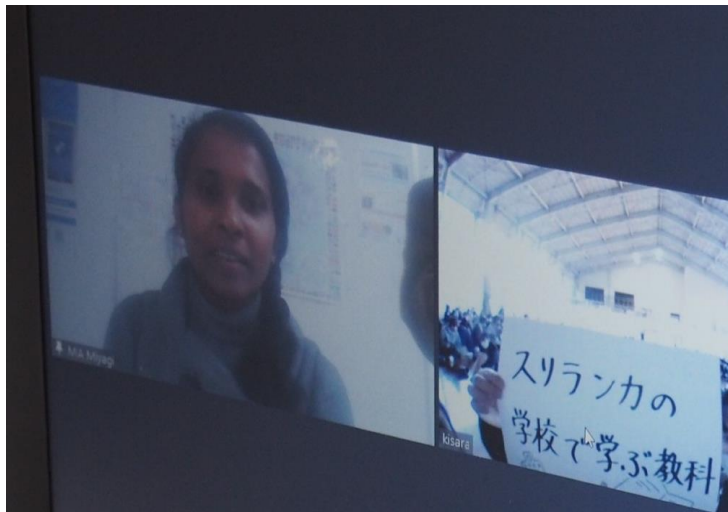
❖ ZOOM接続テスト実施についてのお願い

オンラインのプログラムでは、
通信環境や音声・映像等の事前確認が重要です。
それぞれの学校の環境に合わせて、
プログラムの内容を調整しますので、
できる限りプログラム実施当日と同じ環境（設定、会場など）での
テストの実施にご協力お願いいたします。

4. プログラム実施にあたってのお願い

実際にあった事例

- ・実施直前に教室のスピーカーとつないだら、音が出なかった
- ・外国人講師側の声は聞こえるが、教室側の声が聞こえない



この写真のプログラムでは、事前のZOOMテストで会場側の音が聞こえにくいことがわかったため、質問を画用紙に書いてもらう形式で交流しました。

4. プログラム実施にあたってのお願い

❖ ご連絡方法について

お申込みいただいてからプログラム実施までのあいだ、外国人講師の調整や、ZOOM接続テストの日程調整等でMIAからご連絡することがございます。

ZOOM接続テストや、プログラム当日のミーティング情報などもお送りしますので、できるだけご連絡にはメールのご使用をお願いいたします。

2020年度実施校からの感想

❖ 先生方からの感想(一部抜粋)

- プレゼンテーションに写真が豊富に取り入れられており、とても分かりやすくて良かった。
- 大人になったら、海外に行ってみたいという生徒も多くいました。
- オンラインの国際交流は初めてでしたが、講師の先生がクイズを盛り込んで進めてくださったので、とても効果的だった。
- 挙手で答えられるクイズを多く取り入れてくれたので、自分から発言するのが苦手な生徒も楽しみながら興味を持って参加できた。

2020年度実施校からの感想

❖ 生徒からの感想(一部抜粋)

- コロナで直接会えなかったけど、オンラインで他の国の人とつながることができて良かった。
- 今、コロナ禍で外国に行けないので、リモートで外国のことを知る事ができて良かったです。
- 同じ地球に住んでいるのに、こんなにも文化が違うのは、本当に面白い。
その違いを受け入れあっていく社会になればいいと思った。
- 地理などの学校の授業では学習することができないことまで知ることができた。
- 講師の先生が自分の国のことを一生懸命、日本語で伝えてくれたことに感動しました。